

## 横浜みなとみらい地区見学会・中華街懇親会

—東京連合支部—

東京連合支部では2024年度冬の行事として、12月7日に横浜みなとみらい地区での見学会および、元町中華街での懇親会を開催した。

横浜は参加者諸氏には少なからず一度は訪れている場所であるが、明治の殖産興業期に上州の生糸を海外に送り出した桐生とも深い縁のある街である。今回の企画は、その歴史と文化の再認識とともに、観光とグルメを堪能し、会員諸氏の親交を深めることを目的とした。当日は神奈川県、埼玉県の各支部からも参加頂き、総勢34名の盛況な会となった。

みなとみらい地区見学会は快晴に恵まれ、まず、横浜みなと博物館、日本丸を訪れ、開港165年の横浜港の昔と今に触れ、歴史の流れを感じた。次に、ランドマークタワー69階展望フロアにて、彼方に東京スカイツリーを含む首都圏の街並み、丹沢／富士の裾野などの大パノラマを眺め、心身ともにリフレッシュした。その後、三菱みなとみらい技術館での海、空、宇宙に跨る最新の技術展示は、かつて工学の夢を共にし、学んだ諸氏に驚きと期待を抱かせるに十分であった。

引き続き、元町中華街の「福龍酒家」にて懇親会を開催した。懇親会ではフカヒレ姿煮をはじめとする福建料理と紹興酒に舌鼓を打ち、暫し、旧友との久々の歓談の時間を過ごすことができた。

昨今の貸切バスなどの諸費用の高騰により公共交通機関と徒歩の移動としたため、高齢会員に若干の不安があったものの、大過なく、楽しい1日となった。

(東京電気電子情報支部長 小林延久 52J)



横浜みなと博物館、日本丸前にて